

臨床一般検査(尿検査)

項目コード	検査項目	検体 必要量(mL) 保存	容器	検査方法	基準値	実施料 区分	備考	報告 日数
尿検査								
5600	蛋白定性	尿 10.0 冷	1	試験紙法	(－)	－	新鮮尿を提出してください。 保存剤使用不可。	3～4
5601	糖定性				(－)			
5602	ウロビリノーゲン定性				(±)			
5603	ビリルビン定性				(－)			
5606	pH				5.0～7.5			
5605	ケトン体定性				(－)			
5604	潜血反応				(－)			
5607	比重			屈折計法	1.006～1.030		B	
5650	沈渣	尿 10.0 冷	1	鏡検法	赤血球 (－)～(±) 白血球 (－)～(±) 扁平上皮 (－)～(±)	36 尿 ※1	染色標本による経時変化が 著しい為、参考値としてご利 用ください。 定性検体とは別に尿を提出し てください。 ※2	1～3
5620	蛋白定量	尿 5.0 冷	1	比色法 (ピロガロール レッド法)	6 mg/dL 以下(部分尿)	7 尿	保存剤使用不可。 21～120 mg/day	2～3
5625	糖定量		1	酵素電極法	0.03 g/dL 以下(早朝 尿)	9 尿	0.13～0.50 g/day	1～2

※1 当該保険医療機関内で検査を行った場合のみ算定できます。判断料は算定出来ません。

※2 沈渣判定基準

判定	個数
－	0個 / 全視野倍率400倍
±	1～4個 / 数視野円柱のみ倍率400倍
+	1～3個 / 1視野
2+	4～10個 / 1視野
3+	多数 / 1視野
4+	無数 / 1視野

臨床一般検査(髄液検査, 穿刺液検査, 結石分析)

項目 コード	検査項目		検体 必要量(mL) 保存	容 器	検査方法	基準値	実施料 区分	備考	報告 日数
髄液検査									
5704	比重		髄液 3.0～5.0 冷	41	屈折計法	1.005～1.007	62 尿		1～3
5701	グロブリン 反応	ノンネアペルト 反応			比濁法 (Nonne-Apelt 法)	(－)			
5702		パンディー反 応			比濁法 (Pandy法)	(－)～(±)			
5703	トリプトファン反応				比色法 (里見変法)	(－)			
5709	細胞数			41	鏡検法	0～5 /mm ³		経時変化が著しい為、参考値 としてご利用ください。	1～3
5710	細胞種類				鏡検法	%			
5730	蛋白定量			41	比色法 (ピロガロール レッド法)	10～40 mg/dL	11 生 I		1～3
5738	糖定量		Glucose- Oxydase法 (電極法)		50～75 mg/dL	11 生 I			
5739	クロール		電極法		120～125 mEq/L	11 生 I			
穿刺液検査									
5752	比重		穿刺液 5.0～10.0 冷	41	屈折計法		11 生 I	抗凝固剤を添加してください。 (穿刺液1mLに対しヘパリン 0.01～0.1mg) 経時変化が著しい為、参考値 としてご利用ください。	1～3
5753	リバルタ反応				比濁法 (Rivalta法)				
5750	蛋白定量				比色法 (ビューレット)				
5754	潜血反応				試験紙法				
5760	沈渣				鏡検法				
結石分析									
5833	結石分析定量 (成分比率)		5.0 mg以上 室	1	赤外線吸収ス ペクトル法	含有主成分の比率 %	117 生 II	乾燥した状態で提出してくださ い。血液などが付いた検体は 蒸留水で洗浄し乾燥させて提 出してください。 含有成分の比率を報告しま す。 A	3～5

臨床一般検査(糞便検査, 寄生虫検査)

項目コード	検査項目	検体 必要量(mL) 保存	容器	検査方法	基準値	実施料 区分	備考	報告 日数
糞便検査								
5675	糞便中 ヒトヘモグロビン	1回法	冷	33	(－)	37 尿	便は専用容器に添付の説明 書に従って採取してください。	2～3
5672	(OCヘモディア)	2回法	冷	33		37×2 尿		2～3
5678	糞便中ヒトヘモグロビン 定量		冷	33	120 ng/mL 未満	41 尿		2～3
寄生虫検査								
5660	虫卵	直接塗抹法	糞便 拇指頭大 冷	42	(－)	20 尿		2～3
5661		集卵法				15 尿		
5667	寄生虫虫体鑑別		虫体 冷					2～7